

◎道路管理の経費

道路台帳整備事業	【 道水路管理課 】
-----------------	------------

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
道路整備: 歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 道路法で調製及び保管が義務付けられている道路台帳の整備を行い、道路管理上の基礎的事項を総括して把握するため。

効果 良好な道路管理が可能となり、住民サービスの向上が図れる。

【事業の内容】

(1) 道路台帳整備事業

- ・道路状況の経年変化に伴う道路台帳の補正や認定路線網図の補正を行った。
- ・亡失や位置ずれ等が生じた既存境界点の復元や開発等における境界点の設置を行った。
- ・道路及び水路等の境界査定図を管理・交付するためのシステムを運用した。
- ・境界復元や開発等の境界設置に使用する境界杭等を購入した。

【事業費】

(単位: 千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
46,553	46,553	46,413		140
主な支出内訳				
・ 道路台帳整備事業				
法定外公共物等所管確認事務アルバイト賃金				1,052
境界杭復元等業務委託料				34,407
4級基準点測量 25,101.3m、(同伐採あり)1,263.6m、石標埋設復元 91本 金属標埋設復元 228枚、金銀埋設復元 343本、境界点復元測量 698点 地形測量 2,291.6m、検査探索 2,686点 外				
道路台帳補正及び認定路線網図作成等業務委託料				6,090
都市基準点機能回復測量業務委託料				0
土地境界査定図管理システム機器保守委託料				81
土地境界査定図管理システムソフトウェア保守業務委託料				867
滑川境界復元業務委託料				0
街区基準点復元業務委託料				0
土地境界査定図管理システム賃借料				3,017
境界杭等原材料費				899

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 道路台帳の一部である、鎌倉市都市基本図・道路区域線図が未更新の状態である。当市の道水路等境界点の座標が、測量法改正(平成14年度)に伴う世界測地系に対応していない。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 地籍調査事業(官民境界先行型)が実施計画事業として採択されたことで、当該事業を利用して、道水路等境界座標の世界測地系対応が可能となった。 また、当該事業を行うことで、同事業の補助金を利用したGIS(道路管理システム)構築への道筋が出来た。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 道路台帳の一部である、鎌倉市都市基本図・道路区域線図が未更新の状態である。道水路等境界点の座標が世界測地系に対応していない。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 平成22年度着手予定の地籍調査(官民境界先行型)により道水路等の境界座標について世界測地系対応を行う。 地籍調査事業の補助を利用した道路管理システムの構築を検討し、この中で鎌倉市都市基本図・道路区域線図の補正更新についても検討する。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	地籍調査事業により境界点の世界測地系対応を図ると共に、同事業を活用して道路管理システムを導入することで、道路台帳を拡充し、住民サービスの向上を図る。				
担当課長氏名:		道水路管理課課長代理 小柳出延之			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	道路台帳の調整は、道路法第28条に規程されている道路管理者の義務であり、将来的には道路管理システムの導入も含めて拡充する。				
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋		